

令和 8 年度 第 1 回 西区区政会議 議事録

1. 開会

(澤田 事業調整担当課長)

- まだ到着されていない委員もいらっしゃいますが、現在、定数 21 人の半数以上が出席されているため、本会議は成立していることをご報告します。
- 議事に入る前にお願いがございます。区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため、録音をさせていただいております。また、記録用として職員が写真・動画撮影を行います。
- 今回の区政会議の運営にあたりまして、大阪公立大学の皆様にご協力いただいております。後ほどのグループ討議で、地域活動にかかる研究の一環として、皆様の話し合いにも参加させていただきますので、ご了承ください。
- それでは開会にあたりまして、花澤区長からご挨拶申し上げます。

2. 区長あいさつ

(花澤 区長)

- 皆さん、こんばんは。4 月 1 日から西区長を務めております花澤です。よろしくお願いいたします。日頃より区政の推進にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。本日は夜間にもかかわらずお集まりいただき、ありがとうございます。
- 私は現在、西区内に居住しており、居住歴は約 40 年です。西区は大変住みやすいまちだと感じています。区長として、将来を見据えて取り組んでまいります。区役所職員はもちろん、地域の皆様、委員の皆様にも力をお借りしながら、より住みやすい西区をめざしてまいります。
- 本年度は、三村前区長から区政を引き継ぎ、進めてまいります。現在の西区将来ビジョン及び西区地域福祉ビジョンが今年度までの計画となっておりますので、来年度からの 4 年間を見据えた新たな計画を検討していく必要がございます。西区はさらに進む時期に来ていると感じております。2031 年開業予定のなにわ筋線に西本町駅が新設され、JR が通り、さらに 2030 年頃をめどに IR が夢洲にできることとなります。京阪中之島線の延伸構想もあり、実現すれば 2037 年頃に九条駅で京阪が接続する形となります。こうした動きを見据え、この 4 年間に取り組むべき要素があると考え、今回皆様にご議論いただくビジョン案にも反映しています。
- 忌憚のないご意見をいただき、今後の区政に生かしてまいりたいと存じます。本日はよろしくお願いいたします。

3 議題

(澤田 事業調整担当課長)

- 本日の資料を確認いたします。
 - 会議次第
 - 資料 1-1「令和 7 年度西区運営方針」
 - 資料 1-2「令和 7 年度西区運営方針 委員評価一覧」
 - 資料 2「令和 8 年度第 1 回区政会議 事前意見への回答」
 - 資料 3「区政会議の運営方法に関するアンケート結果」
 - 資料 4「西区将来ビジョン案」
 - 資料 5「西区地域福祉ビジョン案」
 - 資料 6「グループ討議用シート」
 - 資料 7「令和 7 年度の第 2 回教育会議にかかる資料」
 - 資料 8-1 および 8-2「大阪公立大学の取り組み概要にかかる資料」
- 不足があれば、お近くの職員にお申し出ください。
- それでは、ここからは川野議長に進行をお願いいたします。

3-1. 議題「区政運営への評価等」

● 令和 7 年度区政にかかる区政会議委員評価まとめ（資料 1-1、資料 1-2）

(川野 議長)

- 本日は、例年、第 1 回の区政会議で実施する前年度の区政に対する評価に加え、西区将来ビジョンおよび西区地域福祉ビジョン等に関するグループ討議を行い、午後 9 時をめどに進めます。ご協力をお願いします。
- 次第 3、議題「区政運営への評価」です。令和 7 年度運営方針にかかり、区としてどのように取り組んだのかを検証し、評価するものです。区役所から説明をお願いします。

(澤田 事業調整担当課長)

- 令和 7 年度運営方針の区役所自身の評価と今後の方針については、配付資料 1-1 に記載のとおりですので、本日は全文の読み上げは割愛させていただきます。
- 資料 1-2 委員のみなさまの評価の集計結果についてご説明申しあげます。
- 令和 7 年度の区役所の取組について、本日の会議に先立って 16 名の委員に評価いただいております。
- 令和 7 年度においては、2 つのアウトカム指標で目標が未達成となっており、当項目については比較的多くの委員から「あまり評価できない」「評価できない」という評価を頂戴しています。取組内容の詳細等について、この 2 つの戦略について説明させていただきます。

- 表の中の網掛け部分右端に、「番号」という欄があります。この番号の2番、「新たに区役所や地域との連携が図れたマンション、団体数」です。「資料2」の事前のご意見への回答にも記載しておりますが、西区役所からマンションへのアプローチとして、毎年度、区内の約470か所の分譲型ファミリーマンションについて、マンションごとに異なる課題やニーズを把握するため、各管理組合宛てにアンケートを送付しています。ご回答をいただいたマンションには、それぞれの課題等に応じて、「防災出前講座」「にっしー広場」「いきいき百歳体操」「地域活動の紹介」などの取組をきっかけに、人と人とのつながりが広がっていくよう支援しています。アウトカム指標を達成できなかったことを踏まえ、区役所として更なる積極的な取り組みを進める必要があると認識しており、アウトリーチ・アプローチ展開の継続した取り組みや、建設前マンションへの働きかけの徹底によりマンションコミュニティの活性化を図ってまいります。
- 次に番号「10」、「窓口での対応の向上」について、説明させていただきます。
- この取組については自己評価欄にも記載しておりますが、西区では窓口での接遇改善のため、前年度の「来庁者に対する窓口サービスの格付結果」等を踏まえ、「ロールプレイング」、「事後覆面調査」等を導入して実践的な研修を実施したほか、庁舎内の環境改善のため木材を使って美観を図るなど、様々な改善策を実施しました。その結果、令和7年度の格付結果では24区の中でも1位の評価を獲得したものの、三ツ星という目標は達成できませんでした。令和8年度の運営方針のアウトカム指標においても引き続き、格付調査で最高レベルである三ツ星を獲得することを設定し、研修などの取組を確実に遂行し、更なるホスピタリティの向上につなげることで、窓口の対応改善に努めてまいりたいと考えております。
- 最後に、全体の総括としての評価ですが、こちらは高い評価をいただいております、区役所の取組に対する励ましのご意見も含まれているものとして、花澤区長のもと、区役所一体となって更なる区政の改善に努めてまいります。
- 私の説明は以上でございます。

(川野 議長)

- ただいまの説明について、ご質問などございますでしょうか。(質問なし)
- 引き続き、資料2に基づき、事前に寄せられた意見について、区役所から願います。

● 委員事前意見への回答(資料2)

(澤田 事業調整担当課長)

- それでは資料2をご覧ください。令和7年度第1回区政会議の実施に際して事前に頂戴したご意見の一覧及びその回答でございます。
- 資料左側が皆様から頂戴したご意見、それに対する区役所の考え等を右側に記載し

ております。今回、多くのご意見をいただきました。会議のお時間もございますので、大変恐縮ですが、この場では一つだけご意見を抜粋し、説明させていただきます。

- 番号 7、経営課題 3-(1) に関するご意見です。「三村区長のインスタを拝見していましたが、投稿頻度に対して《いいね》の数が少ないなぁと感じていました。西区の YouTube も、登録者数も再生回数も西区の人口で考えたらかなり少ないなと思いました（他の地域のインスタや YouTube を見たことがないので、24 区の中では多い方だったらすみません。）」というものです。
- このご意見に関する西区役所の回答ですが、「ご意見ありがとうございます。西区では昨年度から、SNS、特に Instagram を活用した広報力の強化に取り組んでいます。令和 7 年度は、Instagram の総フォロワー数が 1,503 人から 4,180 人へと約 2,600 人増加し、約 2.8 倍となりました。令和 8 年 6 月時点の西区 SNS(LINE 除く)のフォロワー数は 10,625 人で、北区(11,059 人)に次いで 24 区中 2 位です。また、人口に対するフォロワー数の割合は 9.14% となり、24 区中 1 位となっています。今年度はフォロワー数の増加だけでなく、「いいね」やコメントなどのインタラクションの向上も重視しています。住みます芸人「のびのびハッピーズ」を活用した間違い探しやアンケートなど、参加型の投稿を増やしているほか、投稿の最終ページに「いいね」を促す案内ページを固定掲載するなど、反応を得やすくする工夫も進めています。YouTube については、動画編集に要する労力と視聴者数などの効果が必ずしも比例しない面があります。そのため、短く要点を伝えられるショート動画へのニーズを踏まえ、Instagram に投稿した動画の共有など、効率的・効果的な発信を進め、視聴回数や登録者数の向上につなげていきます。委員の皆様におかれましても、ぜひ西区 SNS への登録・フォローをお願いするとともに、「いいね」やシェアなどでご反応をいただけますと幸いです。
- 私の説明は以上です。

(川野 議長)

- ただいまの説明につきまして、ご質問はございますでしょうか。(質問なし)
- **区政会議の運営方法に関するアンケート結果(資料 3)**
 - 資料 3 が前回の区政会議後に実施させていただいた区政会議の運営等にかかるアンケート集計結果の概要です。18 名の委員からご協力いただきました。ありがとうございました。
 - 現在の運営方法について、何点かご要望をいただきましたが、ほとんどは少数意見でした。ただ、Q2 の最初に書いてあるとおり、「区政会議の開始時間を早めてほしい」というご意見は 4 名の委員からいただいております。一方で、お仕事の都合等で出席が難しくなる委員もいらっしゃるかと思いますので、「会議開催時間

を 30 分早める」ことについて、明日以降に全委員に改めてメールでアンケートさせていただき、第 2 回区政会議の開始時間を早めるか、従来通り午後 7 時開催とするか検討させていただきたいと考えております。

- 資料 3 にかかる説明は以上です。

(川野 議長)

- ただいまの説明につきまして、ご質問はございますでしょうか。(質問なし)

3-2. 「西区将来ビジョン」「西区地域福祉ビジョン」策定について

● 「西区将来ビジョン」について(資料 4)

(澤田 事業調整担当課長)

- 将来ビジョン案について説明させていただきます。
- 早速ですが、お手元に資料 4、西区将来ビジョン案をご用意ください。表紙は現在の将来ビジョンから年度等のみ変えております。
- 本日初めてご覧いただきますので、なかなか全体像が把握しづらいかもしれませんが、ひとまず駆け足で、7 分程度で、ひととおり説明させていただきます。この後のグループ討議で様々なご意見をお願いします。今後、10 月 8 日の第 2 回区政会議、来年 1 月 28 日の第 3 回区政会議でも「西区将来ビジョン案」を議題に挙げる予定ですので、適宜ご意見をいただければと思います。また、ご覧いただいた方はお気づきかもしれませんが、結構文字数が多いです。区役所としては思いをいっぱい詰め込んでいますが、もうちょっと文字を減らした方がいいのではないか、この項目はなくてもいいのではないか、といったご意見も今後の改善に活かしていきたいと思いますので、少し気になった、という点でも忌憚なくおっしゃっていただければ幸いです。
- 表紙をめくっていただいて、1 ページ目は目次です。四角で囲んでいる文章のとおり、今回の「西区将来ビジョン」は「概ね 10 年先を見据えて、区役所が今後 4 年間に区取り組む方向性を示したもの」という視点で作成しております点を心にとめてご覧ください。
- 2 ページ目、「はじめに」として、先ほどの四角の中に書いていた内容をもう少し詳しく説明しております。ページの下にも書いてありますとおり、今後開通予定の「なにわ筋線」、計画の検討が始まった「京阪中之島線延伸」、「区制 150 年」といったことをこれからの約 10 年間で想定しております。このページの最後の文章には区政会議委員のみなさまへのお礼を記載しております。
- 3 ページ目、から「区の概要」として区の歴史や特徴を説明しております。3 ページ目、4 ページ目は現在の「将来ビジョン」と大きく変えておりませんので、この場での説明は割愛させていただきます。

- 5 ページ目は「区のこれから」として、今後想定している、鉄道駅の新設などまちづくりに大きな影響を与える要素を挙げております。
- 6 ページ目、は基本方針として西区の将来像を掲げております。真ん中ですが、「大阪都心のオアシス・西区 水辺と緑が笑顔を育む 職・住・遊が交わる、多世代に選ばれるまち」の実現をめざしてまいります。
- 7 ページ目、は基本方針として骨子を書いております。中央左から順に「街を楽しむ・街を活かす」「心と身体の健康づくり」「安全安心な都心居住区へ」という3つの柱で将来像の実現をめざします。また、このページの下側に、区役所の役割のイメージとして「西区ならではの共創プラットフォーム・官民共創の実践」を掲げております。
- 8 ページ目、から先ほどの3つの柱の内容を具体的に記載しております。まずは「街を楽しむ・街を活かす」として、ページ上側、10年後のめざす姿ですが、「新たな人の流れと地域資源を活かし多様な交流と共創が生まれるまちへ」という将来のイメージを描いております。区内各拠点において官民共創によるにぎわい創出ができている状態をめざします。ページの下側、今後4年間の方向性ですが、「新駅設置を見据えた官民共創の実践・企業・地域・行政の協働」「地域コミュニティの魅力向上と新たな担い手の参加促進」「次世代に向けた新技術・ICTの活用」という視点から地域コミュニティの振興に努めます。次の9ページから11ページはさらに詳細を記載しておりますが、この場での説明は割愛させていただきます。
- 12 ページ目、は柱の2つ目、「心と身体の健康づくり」です。「安心して子どもを産み育てる、子どもが健やかに成長できる環境づくり」と「シニア・働く世代が健康で自分らしくいきいきと地域で生活が続けられる環境づくり」という2つの視点から区民の健康づくりに取り組みます。「シニア・働く世代の健康」は、今回の将来ビジョンに新たに盛り込んだ内容です。こちらも13ページと14ページの詳細説明は割愛させていただきます。
- 15 ページ目、は柱の3つ目、「安全安心な都心居住区へ」です。「多様な資源や専門性を活かした都市型防災を実践する災害に強いまちづくり」と、「誰もが自分らしく安心して暮し続けられる地域づくり」という2つ視点から安全安心な居住環境の実現に取り組みます。こちらも16ページと17ページの詳細説明は割愛させていただきます。
- 18 ページ目、「おわりに」として区役所の業務に取り組む姿勢について一言記載しております。街の将来像を実現する取組だけでなく、窓口の接遇改善、広報、広聴といった区役所の基本的な業務についても真摯に取り組み、区民の皆様にとって身近で心地よい区役所となるよう努めてまいります。
- 19 ページ目以降は、西区の状況を知るための参考となる情報を記載する予定です。現在の内容は、まだ新しい情報ではありません。今後更新予定ですが、もし

「この情報を載せた方がいいのでは」とか「この情報はいらないのでは」といったご意見があればまたご指摘ください。

- 雑駁ではございますが、「西区将来ビジョン案」にかかる説明は以上です。

(川野 議長)

- 説明についてご質問はございますでしょうか。(質問なし)

● 「西区地域福祉ビジョン」について(資料5)

(永井 保健福祉課長)

- 地域福祉ビジョンについて説明させていただきます。
- この度、ビジョン全体のうち冒頭の8ページ、本ビジョンの全体像にかかる「施策体系」までをたたき案としてまとめましたので説明させていただきます。グループ討議にてご意見をいただければと考えております。
- さっそく、お手元の資料5「西区地域福祉ビジョン(案)」をご覧ください。表紙には、次期ビジョンのキャッチフレーズとして考えております「つながる安心」のロゴマークを掲載しております。
- 続いて目次、もう1枚めくっていただくと1ページ目です。
- 1ページ、「私たちが大切にしたいもの～つながる安心～」です。3段落目にございますが、第2期ビジョンでは「つながる・気にかけるまちづくり」を掲げ、人と人、人と地域活動・地域資源がつながり、互いを気かけながら支え合う地域づくりを進めてきました。次期ビジョンにおいても、この方向性を引き継ぎながら、「つながる安心」を実感できるまちづくりをめざしたいと考えております。
- 2ページ、ビジョン策定の背景と経過です。ここでは、これまでの経過や取組状況などを整理しております。また、地域福祉ビジョンの取組状況については、ホームページでも公表しております。
- 3ページ、ビジョンの位置付けと期間です。第3期「西区地域福祉ビジョン」は、「大阪市地域福祉基本計画」を踏まえ、「西区将来ビジョン」との整合を図りながら策定するものです。計画期間は令和9年度から12年度までの4年間としております。
- 4ページ、ビジョンの推進体制です。本ビジョンにより区役所が方向性をお示ししながら、地域、関係機関、事業者など様々な主体が連携し、地域福祉を推進していくことを表しております。ご覧のように、区政会議において、地域の代表者の皆さまや公募委員の皆さまからご意見をいただく、という点は重要なポイントとなります。また今回、第2期からの変更点として、ページ左下にございますとおり「企業、NPO、学校園、各種法人等」を加え、多様な主体との協働をより重視しております。
- 5ページ、西区の現状です。2段落目記載のとおり、これまでの取組状況等を見ま

すと、西区では見守り活動や居場所づくり、子育て支援活動など様々な地域福祉活動が進められてきており、企業や学校などとの連携も広がっています。また、大阪市の地域福祉に関する実態調査などを踏まえ、地域との関わり方の多様化や相談支援ニーズの高まりなど、現在の状況や課題を整理しており、これらをもとに、次のページで西区の課題としてまとめております。なお、こちらにも区ホームページへの案内を掲載します。

- 6 ページ、西区の課題です。課題については大きく2つに整理しております。1つは、つながりや参加、協働による「地域づくりに関する課題」であり、上から4段落目までです。もう1つは、「複合的な課題にも対応できる相談支援体制に関する課題」です。下から3段落です。
- 7 ページ、こうした現状や課題を踏まえ、基本理念と基本目標を設定しております。基本理念は、「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり（副題として）～いつまでも住み続けたいまち西区をみんなでつくろう！～」です。副題部分は平成18年の地域福祉アクションプランから続くものとして、継承してまいりたいと考えております。続いて基本目標1を「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」、基本目標2を「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」とし、地域づくりと包括的な支援体制づくりを一体的に進めていきます。なお、この基本理念および基本目標は、さきほど説明いたしました「西区将来ビジョン」の施策展開の方向性（3）「安全安心な都心居住区へ」の「主な取り組み②」とその下の「やるべきこと」に記載した内容と共通しており、ここでふたつのビジョンの連携を図っております。ご確認をお願いいたします。
- 8 ページ、施策体系です。左側に第2期、右側に第3期の施策体系を掲載しております。第3期では、大阪市地域福祉基本計画との整合を図りながら施策体系を再構成しております。また、第2期では複数の施策に分かれていた「こども・子育て」に関する取組を、地域づくりと相談支援の両面から整理するよう考えております。このほか、見守り活動による地域づくりや多様な主体との連携なども意識しながら体系を整理しております。施策名等については今後変更となる場合がありますが、本日は施策体系の方向性についてご意見をいただければと思います。
- 説明は以上です。

（川野 議長）

- ただいまの説明について、ご質問はございますでしょうか。（質問なし）

3-3 グループ討議 「令和7年度西区運営方針自己評価について」「西区将来ビジョン・地域福祉ビジョンについて」等（資料6）

（川野 議長）

- 続きまして討議に移りますが、進め方について区役所から説明します。

(澤田 事業調整担当課長)

- グループ討議は、以前決めた4つのグループに分かれ、令和7年度運営方針の各経営課題の実績と評価、西区将来ビジョン案、西区地域福祉ビジョン案について議論いただきます。
- 同時に討議を開始すると周囲の声が聞き取りにくくなるため、「子育て教育グループ」と「広報・窓口・ICTグループ」は別室へ移動いただきます。終了後にお戻りください
- 各テーブルの区役所職員が司会進行します。討議時間は約35分、その後、各テーブルの意見を職員が発表します。

(川野 議長)

- 進行方法について疑問点はございますでしょうか。(質問なし)
- ではグループ討議を始めてください。

ー グループ討議 ー

3-4. 討議内容の共有・総括

● **地域コミュニティ防災・防犯グループ**

(篠原 安全・安心担当課長代理)

- 西区では東西で地域の様相が大きく異なるという見方が示されました。外国人住民の増加を踏まえ、多言語対応の強化が必要であること、また外国人住民を地域活動へつなげる取組を進めるべきことが共有されました。都市型防災はビジョンに位置付けられている一方、具体的な推進方法が課題となっており、既に自立的に動いている取組も含めて後押しを求める声が出ました。参考事例として、近隣区でのイベント、ハザードマップの多言語化など防災情報を外国人住民に届ける工夫が紹介されました。
- ものづくり関係者からは、工場見学などのイベントを通じて地域とのつながりを形成することが重要だという指摘がありました。昨年西区で実施されたイベントを評価する声もあり、外国人住民が参加しやすい食文化イベント等を企画して交流のきっかけをつくるのが有効ではないか、という提案につながりました。さらに、こうした交流を入口に参加者登録やSNSフォローへ誘導し、継続的な関係づくりを図る案も示されました。商店街を回遊するスタンプラリー等により地域との接点を

増やし、商店街活性化と連動させる方向性も挙げられました。

- あわせて、従来の枠組みにとらわれず新たな発想で進める必要があるとの認識が示されました。目的が近い団体同士は合同でイベントを実施するなど、連携強化が有効だという意見も出ています。また、スポーツ等の場を活用して若者へ情報発信することの重要性が指摘され、手段の一つとしてマッチングアプリ等の活用を提案する声もありました。

● 福祉健康グループ

（谷川 保健担当課長）

- まず、令和7年度の運営方針・実績評価に関連して、決算と比べて予算が増加している理由などについて質問が出ました。本日は回答に至らなかったため、後日、区役所で整理のうえ回答することとなりました。
- 子どもに関する課題では、とりわけ不登校・ひきこもりへの対応が重要だという指摘がありました。学校内での居場所づくりに加え、学校外の居場所づくりも必要だという意見が出ています。また、高齢者や青年層のひきこもりも増えていることから、交流機会を設ける案も示されました。あわせて、子どもは成果を認められる場があることで意欲につながるため、学校内外でそのような場を整える必要があるという意見がありました。
- 江戸堀周辺では子どもが増える一方で、地域活動の担い手が減っているという声があり、マンション単位で町会等を退会するケースが増えていることから、将来的な担い手不足を懸念する意見も見られました。企業・NPO・学校園等を地域の担い手として巻き込むことがポイントだという指摘がありました。障がい者事業所なども居場所づくりに取り組んでいるものの、情報発信を強化することで雇用にもつながる可能性があるという見方も示されました。企業が地域清掃に参加する事例もあるため、町会とは異なる組織の参画を促すことが重要だという意見が出ています。マンションコミュニティとの連携は重要であり、今後も推進してほしいという要望がありました。さらに、高齢者の単身世帯増加等を踏まえ、つながりづくりが課題であるとの指摘がありました。お寺で学習や制作の場を開放した事例では新規参加者が増え、地域組織への参加につながったことが紹介され、継続的に取り組むことの重要性が共有されました。
- 大阪公立大学の学生からは、子どもの健康の観点で、公園や図書館等を活用し、運動などに参加できる取組を検討してはどうかという提案がありました。図書館が高齢者の居場所となっている例もあることから、地域資源をどのように生かすかが重要であり、AIで「場」のイメージを可視化したうえで、行政・地域だけで決めるのではなく参加型でアイデアを募集する手法が有効ではないか、という意見が出ました。

- また、将来ビジョン資料は文章中心であるため、AI 等も活用して視覚的に分かりやすく示した方が伝わりやすいという指摘がありました。

● 子育て教育グループ

（松村 子育て支援担当課長）

- 議論は多岐にわたりました。
- 区政会議の運営に関しては、出された意見が政策にどのように反映されるのか、プロセスが見えにくいという指摘がありました。意見を踏まえて施策がどのように変更・改善されたのかを含め、反映状況の「見える化」が必要だという意見が出ています。
- 教育分野では、小中連携と不登校が主な論点となりました。小学校から中学校へ進学する際、環境の違い、ギャップ、によって子どもが戸惑うことがあり、不登校につながる可能性があるという見方が示されました。小学校段階からの指導のあり方を含め、小中連携の強化を進めるべきだという意見があり、小学生が中学校の授業を体験するなど、進学時の心理的負担を軽減する取組を求める声もありました。また、学校現場は努力しているものの改善に結びつきにくい面もあることから、区として支援策を検討する余地があるのではないかという意見が出ました。受験等も含め小学校と中学校で到達目標が異なる点を踏まえ、通信制を前提とした教育も含めて、個別最適な学びをどのように推進するかが課題であるという整理もありました。
- 将来ビジョンに掲げる「居場所づくり」については、具体像をより明確にすべきだという意見がありました。居場所には多様な形があるため、子どもに合った選択肢をどのように提供するかが課題として整理されました。

● 広報・窓口改革・ICT グループ

（澤田 事業調整担当課長）

- 令和7年度実績に関連し、マンションコミュニティと地域活動の連携が難しいとの意見がありました。木津川の西側でもマンションが増えており、地域活動の担い手が減少しつつあるのではないかと指摘がありました。
- 庁舎の木質化は見た目の面で評価できること、また、マイナンバー手続きが一人で完結できる点を評価する意見がありました。
- 将来ビジョン案について、なにわ筋線や京阪中之島線延伸への期待がある一方、来街者増加に伴う治安悪化を懸念する意見がありました。
- 西本町駅が通過駅になるのではないかと情報がため、西区の魅力を区役所が発信し、通過駅化を防いでほしいとの意見がありました。また、区役所と地域・企業とのつながりを生かし、連携を広げたまちづくりを求める意見がありました。

- 住みます芸人の活用について、過去に地域行事へ参加した事例があることから、地域で育てる形での活用が望ましいとの意見がありました。
- 福祉ビジョン案について、個人情報の観点等から互いの状況が把握しにくい中、近隣同士で気かけ合える関係づくりが重要だが、マンションでは難しいとの意見がありました。また前回のビジョンにあった「子ども・子育て」が今回の案で見当たらない理由について質問がありました。

● 全体質疑・まとめ

(川野 議長)

- 各グループからの発表、また本日の会議について、ご質問・ご意見がございましたら伺います。(質問なし)
- 本日の議論について、非常にたくさんのご意見をいただきました。
- これまであまり出てこなかった論点として、外国人が増える中で多言語にどう対応するのか、ということが挙げられます。地域にどうつなげていくのか、防災も含め課題になると思いました。案として、イベントを通じてつながっていく、スタンプラリーの話もありました。また SNS (インスタ等) やマッチングアプリの話もあり、ネットを併用していくことが重要だと思います。
- 同じ活動をやっているグループ同士の連携、地域の担い手づくりが課題です。町会の高齢化だけでなく、企業や NPO、学校ともつながっていく必要があります。
- 西区には事業所やお店が多く、「関係人口」も重要です。地震が起こったとき等、そうした方とも一緒に対応していく必要があると思います。
- いまは幅広いネットワークをどうつなげるかが課題です。ネットや SNS を活用できれば、顔が見えなくても近い人たちと困ったときにつながっていける。LINE グループの話もありましたが、併用が大事だと思います。
- 「居場所」もキーワードとして出ました。市立図書館が高齢者の居場所になっている話もありました。
- AI を活用するとビジュアルで見えやすくなるという話もあり、住民にも一目で見える広報が大事なので、AI を活用した広報も考えられると思います。
- こうした議論を踏まえ、区役所には改善に努めていただければと思います。
- 次に次第「4 その他」として、令和 7 年度第 2 回教育会議について区役所から報告をお願いします。

4. その他

4-1. 令和7年度第2回教育会議 結果報告（資料7）

（川楠 教育担当課長）

- 資料7をご覧ください。次のページは目次です。その次に「西区の教育関連施策」について、教育会議でご説明しました。
- 教育会議は、学校ごとに代表して委員を選任し、西区の教育関連施策に関してご意見をいただく場で、年2回開催しています。昨年度の第2回会議資料をご覧くださいながらご報告します。令和8年度の西区の教育関連施策予算（校長経営戦略支援予算）についてです。
- 教育委員会から予算が付いているもので、区長の裁量の性質もある中で事業を実施しています。3つあります。
- 1つ目は「子どもの英語力向上支援事業」（英検受験の補助）です。
- 2つ目は「民間事業者を活用した課外学習事業」（夏休み期間の夏期講習的な塾事業）です。
- 3つ目は新規の「西区リーディングチャレンジ事業」で、読書活動を推進するための事業です。後ほど説明します。
- 次のページ（2ページ）は、区長自由経費としての新規・拡充事業です。
- 中学生を海外に派遣する事業があります。
- 拡充の「つながる・つなぐ子ども支援事業」は不登校支援です。ワークショップや講演会だけでなく、学校内の居場所づくりや家庭訪問を行い、保護者支援もしています。
- 「外国につながる児童生徒支援事業」は、増加している外国につながる児童生徒を学校で受け入れるにあたり、教職員を支援する重要な事業です。大阪公立大学と連携し、学生に支援員として学校に行っていただく形で実施しています。
- 3ページは、教育事業として放課後学習塾事業、ハッピーネット、学校体育施設開放事業などを実施しているという内容です。大阪市各局の事業であり区として責任があるため掲載しています。
- 5ページは企業連携の取り組みで、寄付や協賛など、学校活動に賛同いただいた企業を掲載しています。網掛けは昨年度新規でご協力いただいた企業です。
- 6ページ以降は、九条東小学校・南小学校・北小学校の再編に関する件です。学校再編整備計画に沿って議論を進めています。
- 8ページは、九条東小学校が将来的に学校として廃止となるため、跡地活用も併せて検討していくという内容です。
- 9ページは、九条東小学校の子どもたちが再編後に南小学校・北小学校と一緒に学べるよう、今の時点から交流事業を進めている紹介です。

- 「西区リーディングチャレンジ事業」は、読書習慣の形成や読書力の向上を目的に、読み聞かせや、子どもたちが推し本を決めて紹介するバトル形式の催しなども実施したいと考えています。参加促進も続けます。
- 「中学生の海外派遣事業」は、中学2・3年生から応募をいただき、9名を本年度シンガポールへ8月第1週から約1週間（5日程度）派遣します。帰国後は秋以降、学校や地域で発表してもらい、制度を広げていく事業です。
- 「つながる・つなぐ子ども支援事業」は、不登校に対する支援として、学校内の居場所づくりや家庭訪問を行い、つながりのない保護者の悩み相談、各種支援につなぐ取組を拡充して実施しています。
- 以上です。

4-2. 大阪公立大学からのお知らせ等（資料8-1、8-2）

（川野 議長）

- ただいまの報告について、ご質問・ご意見はございますでしょうか。（質問なし）
- そろそろ時間ですので、議事報告は終了します。
- 資料8-1、8-2についてお知らせします。大阪公立大学の取り組みとして、社会課題解決のための産官学・地域プラットフォームづくりを進めています。
- オンライン上で住民意見を書き込む「にしボイス」を昨年度2月に約1か月実施し、子育てに関して多くの投稿をいただきました。AIで分析する試みをしています。今年度も継続したいと考えています。
- 昨年度は区政会議メンバーにも協力いただき、LINEで「区政会議スピンアウトグループ」を作ってテーマを議論して選びました。今年度も続けたいので、協力いただける方はお声かけください。
- もう一つ、区政会議のグループ討議の取りまとめをAIで行う試みを、次回の区政会議できれば実施したいと思っています。録音しAIで分析して取りまとめます（個人情報を出さず議事録のようなもの）。10月の第2回でご了承いただけましたらご協力をお願いします。詳しくは改めて案内します。

（澤田 事業調整担当課長）

- グループ討議の録音については、次回案内をお送りする際に、改めて各委員の意向を確認します。録音に抵抗がある方がいらっしゃるグループには配慮します。
- 先ほどグループ討議で質問があった「地域福祉ビジョン案で、今回から子ども・子育て政策がなくなった理由」について、担当から説明します。

（永井 保健福祉課長）

- グループ討議で質問があった地域福祉ビジョン案8ページの「地域福祉ビジョン案で、今回から子ども・子育て政策がなくなった理由」について説明します。資料を

お持ちでしたら、いったん7ページにお戻りください。

- 基本理念と基本目標を設定するにあたり、大阪市地域福祉基本計画の基本理念・基本目標と共通のものとして整理していくことを書いています。また将来ビジョンとも連動させて整理したいという思いがあります。
- 基本目標1が「地域づくり」、基本目標2が「相談支援体制づくり」となっており、これらを一体的に進めたいという考えです。
- 8ページを見ると、第2期では「こども・子育て施策の充実」と書いていましたが、今回は「地域づくり」と「相談支援体制づくり」の中で、こども・子育て施策を整理して記載していきたい趣旨です。
- 次回に向けて素案を作成してご覧いただきますので、その際もご意見を賜ればと思います。

5. 区長あいさつ

(澤田 事業調整担当課長)

- 本日は活発な意見交換と議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。
- 最後に区長から挨拶を申し上げます。

(花澤 区長)

- 今日の議論を通じて、若い人たちの意見も含め、いかに地域活動につなげるかが問題だと感じました。
- 担い手不足の中で新たな担い手が必要です。従来型の担い手に加え、企業などにもアプローチして来ていただくことを考えていきたいと思います。
- 高齢者について、大阪市内は高齢の一人暮らしが多い状況です。図書館に多く来られているという話もあり、図書館を居場所として受け止めることも考えたいと思います。
- AIの活用についても、取りまとめ等を進める技術をしっかり取り込んでいきたいと思います。
- 不登校については、小学校では数パーセントでも中学校で10%前後まで上がるという話もあり、課題が重くなる。しんどさが増える実態があるので、そのあたりも相談していきたいと思います。
- 新駅の関係については「通過駅にならないように」という心配もあります。また警察等とも連携して対応し、治安面なども悪化しないよう取り組みたいと思います。
- 本日はありがとうございました。

6. 閉会

(澤田 事業調整担当課長)

- 長時間にわたりご意見を賜りありがとうございました。本日の会議内容は西区ホームページで後日公開します。
- 次回は10月8日を予定しています。
- 区政会議に関する委員アンケートを実施したいと考えています。活発な意見交換ができているか、どのような課題があるか等をお尋ねします。7月上旬にメールで依頼しますので、ご回答をお願いします。
- これをもちまして、令和8年度第1回西区区政会議を終了します。